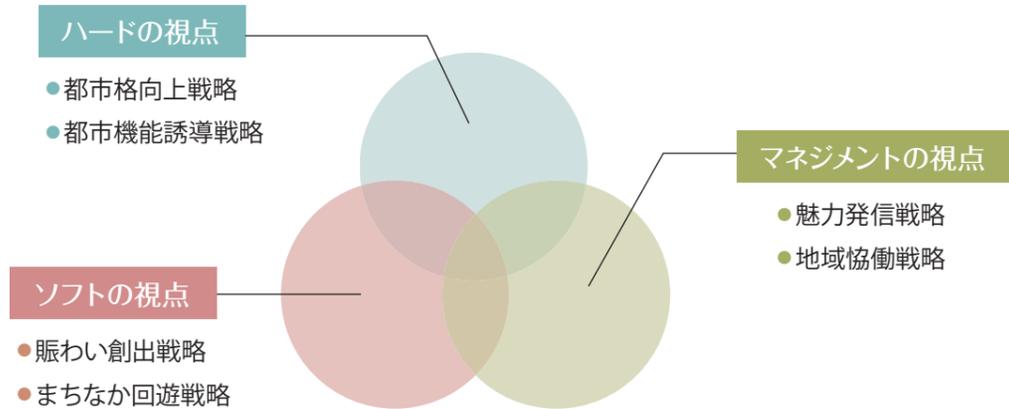


守口都市核周辺における将来都市ビジョン

ビジョン実現に向けて



1

関係者間でのイメージの共有と具体的な計画づくり

守口都市核周辺における将来都市ビジョンの実現に向けては、本ビジョンに示されたまちの将来像、まちづくりの方針、まちづくり戦略などについて、地域、事業者、行政などでイメージを共有し、関係者の合意形成を図り、民間活力の積極的な導入や地域のルールづくりを進めるなど、官民が協働して一体的なまちづくりを進めていく必要があります。

今後は、本ビジョンに基づき、より詳細に検討を行うべく、各々の事業をはじめ、守口都市核周辺のまちづくりを計画的に進めていくべく、「公有地活用方針」の策定、「地区計画」、「景観計画」「各種ガイドライン」等の具体的な計画について検討していきます。

2

エリアマネジメント組織の確立

守口都市核周辺、ひいては、守口市全体の魅力向上に向けては、都市核周辺を含むエリアを一体的にマネジメントしていくことが必要です。

そのため、地元の既存組織等が主体となったイベント活動などに加え、地区内施設等の管理運営や情報発信活動などを含め、都市核周辺を含むエリアを総合的にマネジメントしていく組織づくりを進めていきます。

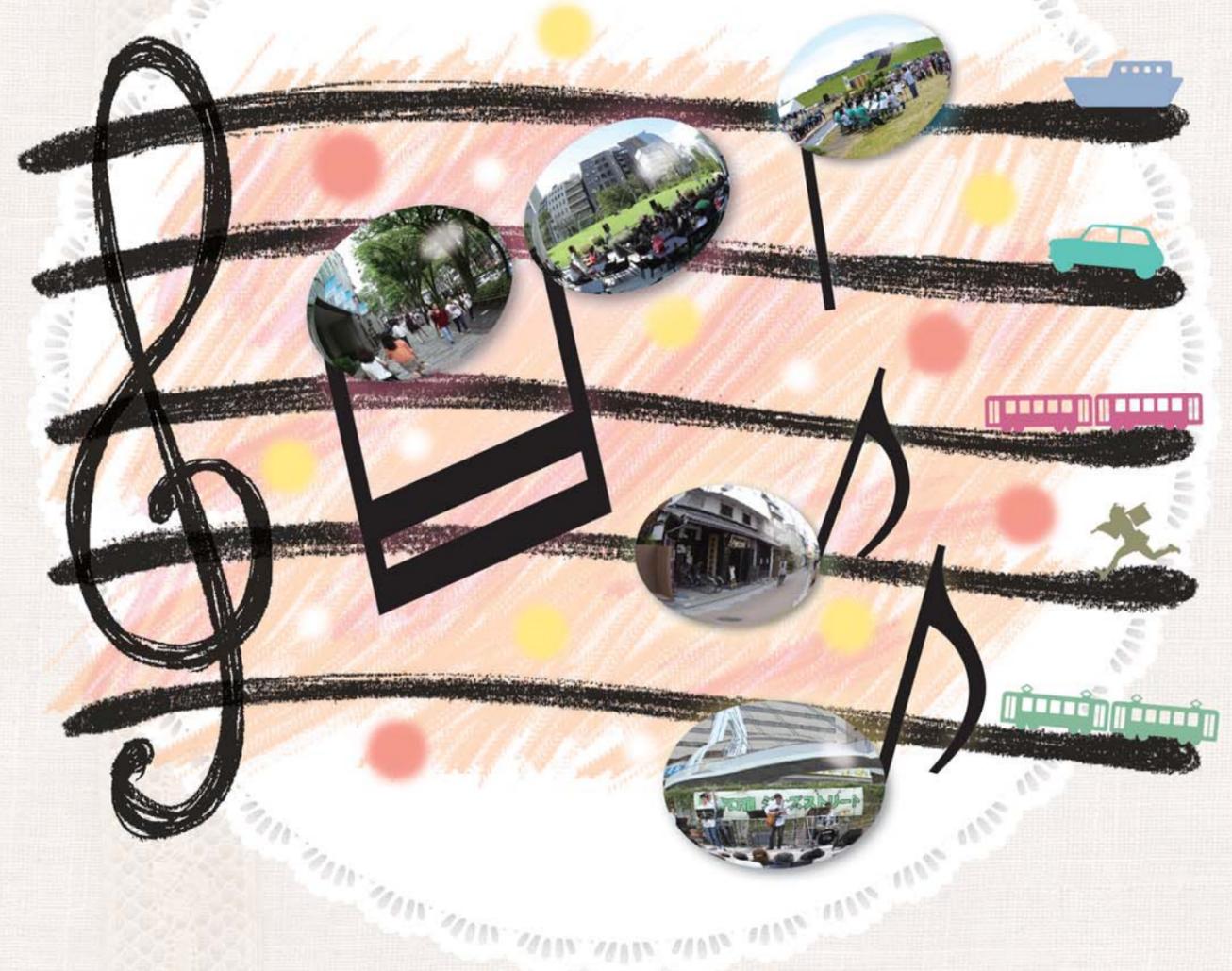
3

市民全員のわがまち意識を育てていく取り組みの推進

守口都市核周辺のまちづくりについては、市民だれもが、まちを構成する一員として、“わがまち意識”、すなわち、主体的な意識と社会的責任をもってまちづくりに参加することが重要です。

本ビジョンでは、そのまちづくりのきっかけのひとつに、「エリアマネジメント組織の必要性」などをあげており、今後、こうした地域の活動を促進し、わがまち意識を育てていくための取り組みを進めます。

歴史・文化と
賑わい・交流の
ミルフィーユ



MORIGUCHI
守口市

ビジョンのねらい

本ビジョンは、守口市の今後20～30年後の将来を見据え、守口の新しい都市イメージの創出につながるような魅力、賑わい、交流が溢れる守口都市核を目指していくための指針として、策定するものです。

地域、事業者、行政など多様な主体が一緒になり、都市核周辺のまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



【課題整理ポイント】

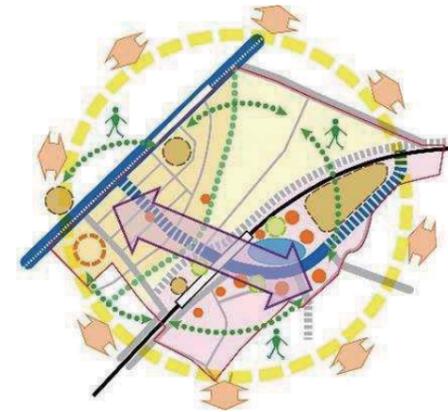
課題 1 玄関口に相応しい都市基盤整備と都市機能導入による都市イメージの向上

課題 2 賑わいと交流・まちの回遊性、都市活力の向上

課題 3 地域資源の活用と発信、多様な主体と連携した取組み推進による都市魅力の向上

新しい都市イメージにつながる 日常の賑わい・交流のある守口都市核づくり

守口都市核周辺の新しい都市イメージを創出すべく、市の玄関口としての佇まいや風格をつくとともに、地域の特性を活かし、親しみやすい「ヒューマンスケール」の賑わいや交流のあるまちづくり、人と施設、施設とまちをつなぎ、周辺に拡がる、新しい守口都市核を目指します。



歴史・文化 と 賑わい・交流 の「ミルフィーユ」 ～もりぐち・重奏(重層)都市構想～

「守口の歴史・文化の層の中に、新しい交流・賑わいの具(コンテンツ)を 挟み込んでいく…」

本ビジョンでは、そんなイメージを、『ミルフィーユ』に見立てて、都市核周辺のまちづくりのイメージを共有し、歴史・文化の層と、新しい交流・賑わいの具が折り重なることで、さらなる魅力を生み出していきます。

今後は、こうした、いわばミルフィーユの要素(コンテンツ)にさらに磨きをかけ、それぞれを重奏的に関連させながら、魅力的な『守口の新しいライフスタイル像』を次々に生み出し、周辺に拡げていきます。



守口の新しいライフスタイル

シーン1 交流 Communication

- 家族や仲間と交流する
- 好きな人とデートする
- 知らない人とも交流する

シーン2 利便 Convenience

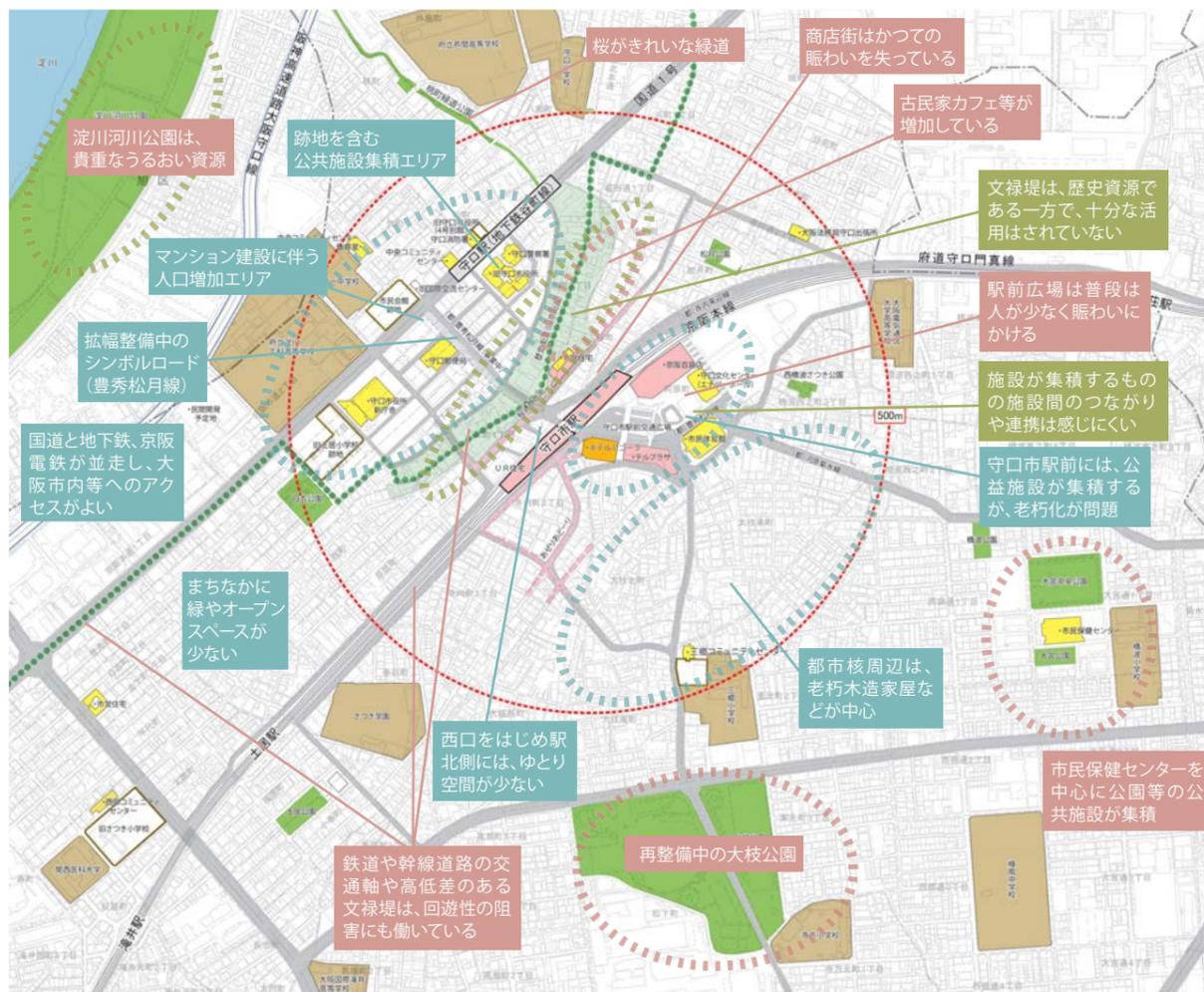
- 何でもそろって買い物にも便利
- 子育て支援施設が身近に利用できる
- 医療福祉施設も充実し、便利で安心

シーン3 憩い Comfort

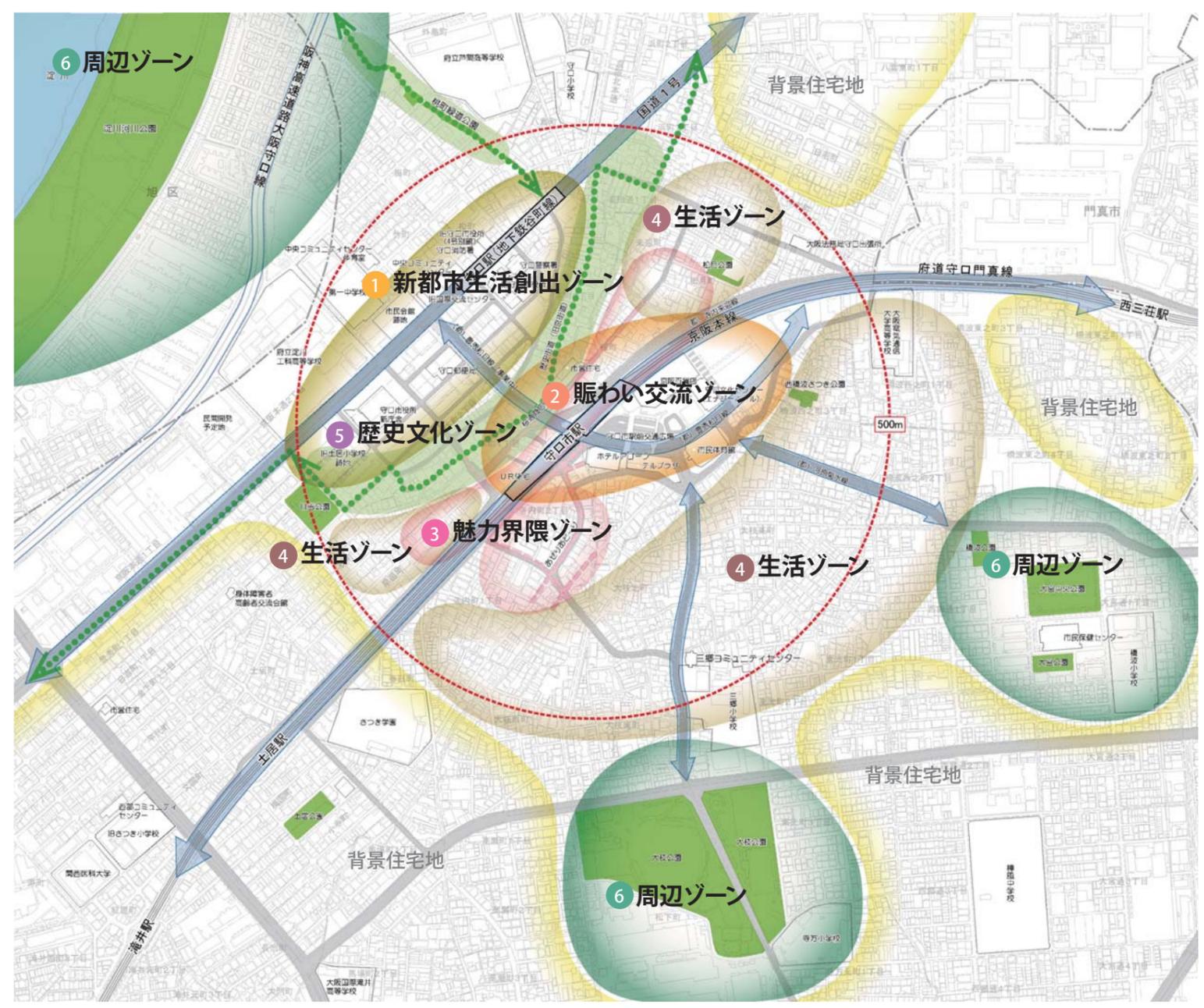
- まちなかの休憩スポットで憩う
- オシャレで快適シンボルロードで憩う
- 公園緑地で憩う

シーン4 活動 Culture activity

- まちなかでみんなで楽しく活動する
- 施設を利用して活動する
- 歴史文化と触れ合いながら活動する



もりぐち重奏(重層)都市構想ゾーニング図



1 新都市生活創出ゾーン
 市の中心部として、様々な世代や対象に向け、守口のこれからの新しいライフスタイルを創出していくための機能導入を充実させていくゾーン

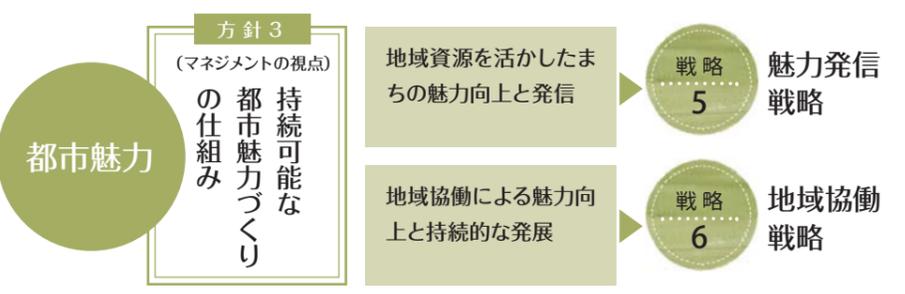
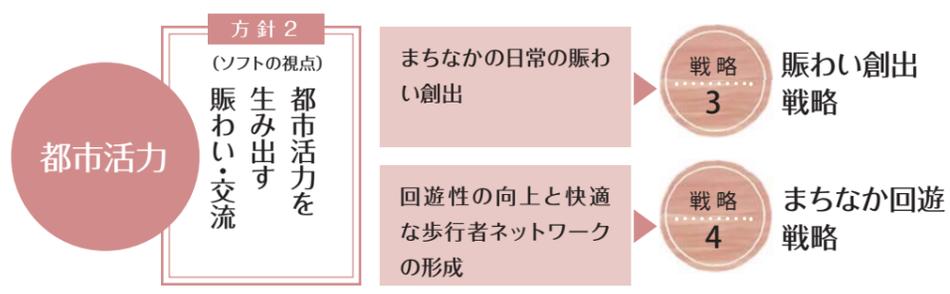
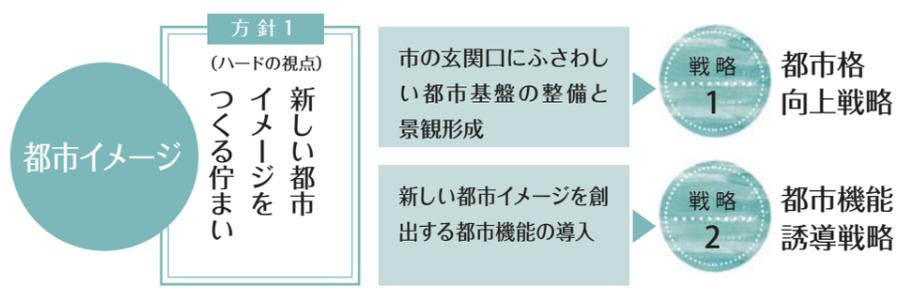
2 賑わい交流ゾーン
 市の玄関口として、今後もさらなる賑わいや交流を生み出していくゾーン

3 魅力界限ゾーン
 住む人にとっても、訪れる人にとっても境界性があり「親しみ」があり、魅力的な商業機能中心のゾーン

4 生活ゾーン
 戸建住宅や共同住宅などが立ち並び、それぞれの環境に合わせた居住機能を中心としたゾーン

5 歴史文化ゾーン
 京街道沿いの一体的なまちなみ形成に取り組みながら、個性ある店舗や施設の立地を誘導していくなど、「守口の個性」を継承し、新たに創出していくゾーン

6 周辺ゾーン
 ・淀川河川公園とその周辺
 ・大枝公園とその周辺
 ・市民保健センターとその周辺



戦略
1

市の玄関口にふさわしい 都市基盤の整備と景観形成に向けて

都市格向上戦略



実現に向けた取組み

1. 守口の都市格を向上させる駅前空間づくり
2. 新しい都市イメージにふさわしいシンボルロードの整備
3. 人中心の空間形成

戦略
4

回遊性の向上と快適な 歩行者ネットワークの形成に向けて

まちなか回遊戦略



実現に向けた取組み

1. 歩いて楽しい快適な歩行者空間の形成
2. 建物低層部への店舗等の誘導によるまちなみの連続化
3. わかりやすいサイン整備の推進

戦略
2

新しい都市イメージを創出する 都市機能の導入に向けて

都市機能誘導戦略



実現に向けた取組み

1. 多様で魅力的な都市機能の適切な誘導
2. 跡地を含む公的資源を積極的に活用した都市機能誘導
3. 民間活力導入を含む多様な事業手法の検討

戦略
5

地域資源を活かした まちの魅力向上と発信に向けて

魅力発信戦略



実現に向けた取組み

1. 歴史的資源である「文禄堤」の整備活用の促進
2. うるおい資源である「淀川河川公園」の利活用促進
3. 地域と連携した様々なツールを活用した魅力発信

戦略
3

まちなかの日常の賑わい 創出に向けて

賑わい創出戦略



実現に向けた取組み

1. 多孔質空間を活用した賑わい創出
2. 守口市駅前広場の日常時の利活用促進
3. 空き家等を活用した地域密着型店舗等の導入推進

戦略
6

地域協働による 魅力向上と持続的な発展に向けて

地域協働戦略



実現に向けた取組み

1. 地域の課題認識の共有に向けた場の創出
2. 地域の課題解決や魅力向上に向けたルールづくり
3. エリアマネジメント組織の形成